

指定管理業務評価シート

評価視点	評価項目	事業区分	評価指標	数値目標	指定管理者評価			図書館協議会評価		
					事業計画の概要	事業実績	実績値	評価	評価内容	評価
運営全般事項	人員配置	指定	職員配置が適切であるか。また、業務が円滑に遂行されているか。		全館合計16名体制とし、業務を円滑に遂行する。	乗盛はもろろんのこと、花矢・比内・田代図書館においても職員が急な用事や病気等で休むことになったとしても、速やかに他の職員を配置し、業務を滞ることなく円滑に遂行することができた。		A	最適な職員配置に配慮され、円滑な業務遂行ができている。	A
	人材育成	指定	職員への教育・研修を実施し、職員の能力向上に努めているか。 ・職員研修会開催回数 ・苦情・ご意見件数	12回/年 10件/年	より一層の職員研修に努め職員の資質向上を図る。	各職員が、自発的に様々な研修会に参加し、更なる資質向上に努めた。 ・職員研修会開催回数 ・苦情5件/ご意見5件	11回/年 10件/年	B	職員研修の開催等、ほぼ予定通り開催できている。	B
	組織の管理体制の確立	指定	現場スタッフと管理間の意志疎通や情報共有がとられているか。また、工夫がされているか。		職員間の直接の対話を増やすと共に、各館へ回覧・配布を行い、情報の共有を図る。	郵送やメール等で送られてきた情報を適宜回覧すると共に、毎月行っている各図書館責任者による施設連絡会で話し合われた内容等についても、情報共有のため全職員に配布・回覧を行い、情報共有を図った。		A	十分な情報共有により、効果を上げている。	A
	ボランティアの育成	指定	ボランティアの育成が図られているか。		ボランティアの裾野を広げるための施策を行う。	定期的に会合やおはなし会を開くなど、ボランティアの技術向上に努めた。		B	ボランティアの実績は十分に上がっている。B+	B
	広報・PR	指定	広報・PRをどれだけ行い、効果がどれだけあったか。 ・広報大館への掲載回数 ・広報紙の発行回数	12回/年 36回/年	新聞等でのイベント報道に加え新着図書案内、図書館コラムの連載を継続する。また、ホームページの充実を図り多面的な発信に努める。	事業ごとに各新聞社等への周知や取材依頼の送付。SNSやホームページへの情報掲載。利用者に好評を得ている月2回の地元新聞掲載のコラム等、幅広い情報発信を行った。 ・広報大館への掲載回数 ・広報紙の発行回数	12回/年 36回/年	B	広報掲載や広報誌の発行、SNSの活用や樹本新聞紙での情報発信等、十分に取り組んでいる。B+	B
	施設設備の維持管理	指定	施設維持管理が良好に行われているか。また、清掃が行き届いているか。		点検や巡回の励行はもとより、担当部課との情報共有に努め、施設設備の長寿化及び更新等に関する交渉を継続する。	日常的な巡回により、不具合箇所等については速やかに修繕等の対応を行い、大規模な修繕や改修等が必要な案件については、市所管課に報告・相談を行い、利用しやすい快適な施設を維持するよう努めた。		B	特に利用者の不便となるトラブルに見舞われることなく、管理されている。	B
	危機管理体制の確立	指定	危機管理に関する対応方法が職員に周知されていて、緊急時の連絡体系が整っているか。		緊急時の対応や消防設備について理解し、設備の管理を行う。	緊急時にどのような行動を取る必要があるのか、利用者の安全確保を守るため、職員の意識共有を図った。		B	今後とも緊急時の安全確保をお願いしたい。	B
	経費の適正な執行	指定	経費の効果的、効率的な執行がなされ、その目標が達成されているか。 対直営時 ・人件費外の経費削減率 ・消費電力削減率 ・水道量削減率 ・燃料削減率	- %以上 - %以上 - %以上 - %以上	利用者サービス等に影響が出ない様、効率的な経費削減に努める。	物価高騰を鑑み、職員が様々な点において経費削減に徹底して努めたことにより、前年度並みの経費に抑えることができた。今後も、継続して経費削減に努めていく。 ・人件費外の経費削減率(対R4) ・消費電力削減率(対R4) ・水道量削減率(対R4) ・燃料削減率(対R4)	0.06% 0.05% 0.03% △0.01%	B	燃料については、微増となっているものの、その他の項目では削減されており、努力が認められる。	B
館長のリーダーシップ	指定	館長がリーダーシップを発揮して運営を行っているか。		職員間の相互理解を深め、信頼関係の構築に取り組む。	各職員との対話や全体ミーティング等で意思疎通を図った他、今まで培ってきた経験と実績による他団体との信頼関係を継続して構築する等、リーダーシップを発揮して健全で円滑な運営を行った。		A	総合的な目標達成に、館長のリーダーシップが認められる。	A	

市の総合評価

所管課コメント	判定	運営全般において、定例の施設連絡会をはじめ職員間において情報共有が図られているほか、全館において職員派遣などにより業務に支障をきたすことなく円滑な業務遂行を行っていること。研修会等に積極的に参加し職員の資質向上に努めたこと、また新聞やホームページ、SNS等で幅広く情報発信に努め、適切に運営されていることから自己評価は妥当である。
---------	----	---

指定管理業務評価シート

評価視点	評価項目	事業区分	評価指標	数値目標	指定管理者評価				図書館協議会評価												
					事業計画の概要	事業実績	実績値	評価	評価内容	評価											
基本的サービス	個人利用者のサービス (各館・移動図書館車)	指定	利用者状況について、前年度と比較し増加傾向にあるか。	各館ともに市民が利用しやすい環境を整備するとともに、図書館の事業活動について周知を図る。	新型コロナウイルス感染症が5類となったことにより、本の貸出や事業への参加等、図書館に市民が戻ってきている。しかしながら、少子高齢化や人口減少等による影響を受けてしまう部分もあるが、利用者サービスの充実を図りながら、より利用しやすい環境整備に努めていきたい。	B	貸出冊数を除く各項目で目標数値を超えており、全体としては目標を十分に達成していると思われる。	B													
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>・来館者数</td><td>130,500人/年</td></tr> <tr><td>・貸出利用者数</td><td>45,500人/年</td></tr> <tr><td>・新規登録者数</td><td>620人/年</td></tr> <tr><td>・貸出冊数</td><td>200,000冊/年</td></tr> <tr><td>・予約受付件数</td><td>25,200件/年</td></tr> </table>		・来館者数				130,500人/年	・貸出利用者数	45,500人/年	・新規登録者数	620人/年	・貸出冊数	200,000冊/年	・予約受付件数	25,200件/年	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>・来館者数</td><td>136,260人/年</td></tr> <tr><td>・貸出利用者数</td><td>45,625人/年</td></tr> <tr><td>・新規登録者数</td><td>649人/年</td></tr> <tr><td>・貸出冊数</td><td>197,714冊/年</td></tr> <tr><td>・予約受付件数</td><td>25,879件/年</td></tr> </table>	・来館者数	136,260人/年	・貸出利用者数
・来館者数	130,500人/年																				
・貸出利用者数	45,500人/年																				
・新規登録者数	620人/年																				
・貸出冊数	200,000冊/年																				
・予約受付件数	25,200件/年																				
・来館者数	136,260人/年																				
・貸出利用者数	45,625人/年																				
・新規登録者数	649人/年																				
・貸出冊数	197,714冊/年																				
・予約受付件数	25,879件/年																				
蔵書構築 (各館・移動図書館車)	指定	選書計画が、4館それぞれ特色を持った計画とされているか。また、図書選定及び除籍が、仕様書に規定する選定組織で行なわれているか。	各館の選書方針を定め、4館それぞれの役割を受け持つことで図書館全体での蔵書の充実を図る。除籍については指定管理要項の規定に則り、過不足なく行う。	各館ごとに決められた選書方針に従い、効率的な資料購入に努めた。また、除籍については廃業業務取扱要領の規定に従って廃棄を行った。なお、物価上昇により本の価格も値上げを続けており、僅かながらもその影響により購入冊数が減少しているものの、購入金額は仕様書指定の額を満たしている。	B	わずかに目標冊数に達していないものの、物価上昇の中で十分に努力されている。	B														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>・購入冊数</td><td>4,200冊/年</td></tr> </table>	・購入冊数	4,200冊/年				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>・購入冊数</td><td>4,191冊/年</td></tr> </table>	・購入冊数	4,191冊/年											
・購入冊数	4,200冊/年																				
・購入冊数	4,191冊/年																				
利用者に提供されるサービスの品質	指定	職員が、一般図書のほか自館所蔵資料に精通するため努力しているか。	複数の職員が共同で担当する等、図書館サービスへの理解と意識を高める。	職員間での情報共有を図るとともに、書架整理作業を日常的に行うことで自館資料の把握に努めた。	B	職員の自館資料把握によりサービス向上が認められる。	B														
利用者に提供されるサービスの迅速性及び的確性	指定	市民ニーズを汲み取って、時代の変化にすばやく対応し、市民のための具体的で有効な図書館サービスに結びつける努力が行なわれているか。	来館する利用者だけでなく、広く市民に目を向けた啓発・啓蒙活動にも力を注ぐ。	利用者アンケートでは職員の対応についてとても良い評価をいただいた。今後も、利用者の声に耳を傾けながら、更なるサービス向上に努めていきたい。なお、今年度は利用者のご意見を元にアップデートを行い、より図書館を利用しやすい環境を整えることができた。	B	利用者アンケートの評価も良く、更なる環境整備に取り組んでいる。	B														

市の総合評価

所管課コメント	判定	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ禍以前のような賑わいにより来館者数の増及び貸出点数の増となり、各館の選書方針による蔵書が適切であること。また、常日頃図書館利用者へのサービスが積極的に行われ、利用者との信頼関係構築に努めていることは、一定の評価に値する。
---------	----	--

指定管理業務評価シート

評価視点	評価項目	事業区分	評価指標	数値目標	指定管理者評価				図書館協議会評価		
					事業計画の概要	事業実績	実績値	評価	評価内容	評価	
充実・推進を図るサービス	事業実施 (各館)	指定	仕様書に規定する企画業務が遂行されているか。また、利用者サービスを向上させる事業が提案されているか。	予算と人員を効果的に活用し、指定管理期間を通して年毎にサービスの向上に努める。	市指定事業だけでなく、事業団独自の事業を数多く開催し、いつも来館する利用者やあまり足を運ぶことのない地域住民の皆様にもとても喜ばれた。今後も、図書館の魅力を伝える事業を開催していくと共に、新たな利用者の獲得も行っていく。	・事業実施回数 26回/年	A	事業実施回数が目標数値を超えており、事業団独自の事業を開催している。	A		
										・事業実施回数	24回/年
	学校（保育園・児童館）連携 (各館)	指定	図書館サービスの一つとして、教職員に認識され、また利用されるよう取組しているか。	専任の職員と各館の責任者を中心に、市内の児童・生徒の読書環境づくりに積極的に関与・協力していく。	学校図書館の整備に司書を派遣し、児童生徒の読書環境を整える支援を行った。また、児童に対し、図書室の利用指導や読み聞かせなども行い、児童の読書推進に寄与した。	・学校連携事業実施回数 6回/年 ・学校図書館支援（学校数） 10校/年	A	学校連携事業の実施回数が目標数値を超えている。学校の図書担当職員同士の研修があれば、さらに効果が期待できるのではないか。	A		
										・学校連携事業実施回数	5回/年
										・学校図書館支援（学校数）	10校/年
	レファレンスサービス (各館)	指定	レファレンスサービスの充実について、成果が上がっているか。	利用者に対するレファレンスサービスの充実に努める。	利用者から問い合わせがあった場合に対応するだけでなく、何かを求めていると思われる利用者や、資料等を必要としている利用者に対してこちらから積極的に声がけを行う等、レファレンスサービスの充実に努めた。	B	レファレンスサービスは、利用者には大変有用なサービスなので、今後もお願いしたい。	B			
	リクエストサービス (各館)	指定	リクエストサービスの充実で、利用者に結びついているか。	市民の読書活動に寄与するため、要望に対応する。	限られた予算を活用し、寄せられた要望に可能な限り対応した。	B	委員にも利用経験者があり、今後も対応をお願いしたい。	B			
ボランティアなどとの協働事業 (各館)	指定	図書館事業や読書活動に関わるボランティアを養成・支援する事業を企画実施しているか。	ボランティア団体に対する支援や共同事業の開催を通して、共益的なパートナーシップの構築に努める。	図書館後援会や、各読み聞かせ団体と協力、連携を図りながら様々な事業を開催した。	・おはなし会開催回数 56回/年 ・おはなし会参加者数 675人/年 ・ボランティア図書館利用回数 64回/年	B	参加者数は目標値に達していないものの、開催回数や利用回数は多く、ボランティアの事業実績は十分に評価に値する。	A			
									・おはなし会開催回数	55回/年	
									・おはなし会参加者数	750人/年	
相互貸借サービス (各館)	指定	相互貸借サービスを安定的に運営し、利用者の増加に結び付けているか。	資料の要望や情報サービスの質を向上させるため、図書館の相互協力を活用する。	相互貸借の受付件数は、前年度に比べ109件の増となった。物価高騰の影響もあり、本を自分で購入せずに相互貸借を利用する人が増えたと推測する。いずれにせよ、図書館利用者がもっと増えるよう、幅広い宣伝・周知活動に努めていく。	B	相互貸借の受付件数が、前年度比109件の増となっており、これを評価したい。今後も効率的な図書館利用に努めていただきたい。	A				
特色を持った図書館づくり (各館)	指定	各館、地区の特色にあわせた個性ある地域図書館を具体化する事業計画が立案されているか。	地域の資料の収集に努めるとともに、所蔵している資料の紹介や活用を図る。	真崎文庫の所蔵品を展示するとともに、県立博物館との連携によるギャラリートークを行うなど、収蔵している資料についての周知に努めた。	B	県立図書館との連携事業を通じて資料の周知と活用に努めている。	B				

市の総合評価

所管課コメント	判定	市指定事業に加え事業団独自事業も数多く開催しサービス向上に努めていることに加え、学校連携事業や図書館支援事業を継続的に開催し児童の読書推進の寄与やボランティア団体等と連携により利用回数が大幅に増えたこと。また、相互貸借件数が大幅増となったことを高く評価し、引き続き図書館活動の充実を図り読書の推進に努めていただきたい。
---------	----	---

判定

	項目数	S	A	B	C	D
全般	9		3	6		
基本	4			4		
充実・推進	7		4	3		
(点数換算)		0	70	91	0	0
計	20	161点				
判定 (点数/項目数)		8			A	
<small>※充実・推進シートの「ボランティアなどとの協同事業」と「相互貸借サービス」の項目についての協議会評価は、開催回数や利用回数、ボランティアの事業実績、相互貸借の受付の前年度比増は大いに評価できるとして「A」判定</small>						

項目	S	A	B	C	D
点数換算係数	12	10	7	5	3

点数	10超	7超 10以下	5超 7以下	3超 5以下	0超 3以下
判定	S	A	B	C	D

A : 「あらかじめ定められた事業計画及び目標を上回る成果をあげた」